



会 議：国際標準化機構（ISO）セキュリティ及びレジリエンス技術専門委員会（TC 292）
第6回総会と保護セキュリティ作業委員会（WG 6）、スタバングル会合

開催場所：ノルウェー規格協会（SA） ノルウェー スタバングル

会議期間：2018年10月8日～12日

参加国： オブザーバーとリエゾンを含む20カ国25名

海技研からの出席者：

横井 威：環境・動力系環境影響評価研究グループ主任研究員

概要：ISO/TC 292 は、社会の安全及びレジリエンスを強化することを目的とし、セキュリティ分野の標準化を審議する技術専門委員会である。これまで、ISO の戦略アドバイザーグループにより規格開発の体制が検討され、ISO/TMB（技術管理評議会）の承認を経て、ISO/TC 223（社会的セキュリティ）、ISO/TC 247（不正防止対策及び管理）、ISO/TC 284（民間警備会社オペレーションの品質管理 - ガイダンスを伴う要求事項）及び ISO/TC 8（船舶及び海洋技術）の一部を統合し、本委員会が設立された。

今次会合では総会（小委員会）に加え、WG 1（用語定義）、WG 2（事業継続とレジリエンス）、WG 3（危機管理）、WG 4（製品及び文書類の真正性、完全性信頼性）、WG 5（コミュニティーレジリエンス）及び WG 6（保護セキュリティ）が同時に開催された。各 WG は、それぞれの規格案を審議し、後述のとおり合意した。

主な貢献

横井は、総会の開催に先立ち Ad Hoc Group にエキスパートとして参画し、ISO 28000 シリーズの改訂に係る妥当性報告（Justification Report）の起草等に貢献した。また、総会と WG 6 に出席し、新規提案である ISO 22340、ISO 22341 と ISO 22342 に係る起草の審議に貢献した。

なお、今時会合への出張や審議対応については、経済産業省による ISO TC 292 に係る調査研究を受託した一般財団法人日本規格協会からのご依頼を受け実施した。



ISO/TC 292 にて

主な審議結果

当所職員が担当した議題の主な審議結果は以下のとおりである。他の事項及び審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。



1 Ad Hoc Group

Ad Hoc Group は、ISO 28000 シリーズに係る定期見直しに対応するため、本会合の開催に先立ちオンラインビデオ会議を開催し審議を実施してきた。その後、本グループによる妥当性報告（Justification Report）を作成し、総会と WG 6 での審議を経て結果は以下のとおりとなった。

- Ad Hoc Group による妥当性報告は委員会により承認された。ISO 28000 シリーズの改定作業を実施する作業部会（WG）の設立については、合意に至らず引き続き審議することとなった。
- ISO 28000 に係る改訂作業は、適応範囲は変更せずにマネジメントシステム規格（MSS）の共通構造（HLS）との整合性を確保する。

2 WG 6（保護セキュリティ）

WG 6 では、新規提案として可決された ISO 22340 (Security and resilience – Protective security – Architecture, framework and guidelines), ISO 22341 (Security and resilience – Protective security – Guidance for security and crime prevention by urban design and management) と、ISO 22342 (Security and resilience – Protective security – Guidelines for the development of a security plan) に関する起草審議が実施され、今後はさらなる審議を継続することに合意した。また、WG 6 としてのロードマップが提示され、特段の異論はなく作業部会はこれに同意した。

3 ISO/TC 292 の決議

Head of Delegations 会合と WG 1～WG 6 の審議を経て、総会では今次会合の決議を採択することに合意した。主な決議は以下のとおりである。

No.	議題採択
157	議題採択
158	第 5 回総会の議事録の承認
159	決議委員会の任命
160	報告書
161	Ad Hoc Group による報告と解散
162	セキュリティスコープに係るタスクフォースの報告とレジリエンス
163	戦略的ワークショップからの報告
164	定義変更に係る WG1 への情報
165	ISO 22300 セキュリティとレジリエンスの改訂と語彙
166	ISO 22301 DIS 投票
167	ISO 22313 DIS 投票
168	ISO 22396 DIS 投票
169	リソース管理に係る予備作業項目
170	緊急時管理に関する予備作業項目フレームワーク
171	ISO/TC 262/WG 8 緊急時管理へのリエゾン専門家リスクと JWG
172	ISO/IEC JTC 1/SC 27/WG4 セキュリティ管理とサービスへのリエゾン専門家と JWG
173	ISO/TC 211 地理情報/地質学へのリエゾン
174	コミュニティグループへのサポート
175	今後の本会議の取り決め
176	すべての関係者への謝辞
177	主催者への謝辞



4 今後の予定

次回の ISO/TC 292 総会の開催時期は 2019 年 9 月、開催場所は未定である。なお、WG 6 は、2019 年 4 月 1 日～4 日にパリで開催される予定である。